

2022年8月29日

令和4年度第2回応用物理学会北海道支部役員会 議事録

日時：2022年8月29日(月)10:30-12:00

形態：ZOOMによるオンライン審議

参加者（順不同、敬称略）：

植村哲也(支部長), 佐藤勉(室蘭幹事, 会場幹事), 山根啓作(庶務幹事), グェンタン ソン(釧路幹事), 木場 隆之(北見幹事), 山崎憲慈(庶務幹事), 小野円佳(会計幹事), 片山司(会計幹事), 篁耕司(人材育成幹事), 森田隆二(会計監査), 戸田泰則(支部評議員), 本久順一(支部評議員),

以上 12 名

欠席者（順不同、敬称略）：

中村基訓（旭川幹事），酒井大輔(北見工大、日本光学会幹事), 小田久哉(千歳幹事)

以上 3 名

事務局：惣伊田ゆり

議事録作成者：山崎憲慈(庶務幹事)

議題：

- 議題1 2023年1月開催予定の北海道支部学術講演会について（資料1-1, 1,2）
- 山根庶務幹事より2023年1月開催予定の北海道支部学術講演会の実施形態について説明があり承認された。
 - ◇ 日程が2023年1月7日（土）、1月8日(日)で決定していることが確認された。
 - ◇ ジュニアセッションの開催形態については篁人材育成幹事に一任することが説明、承認された。現時点では対面を予定している旨の説明があった。
 - ◇ 対面開催の場合も含め予稿集の印刷は行わず、電子ファイルでのみ提供(2021年度第3回役員会にて承認済み)することが確認された。
 - ◇ 室蘭幹事の佐藤室蘭幹事より、既に会場が正式に予約されていることが報告された。
 - ◇ 講演会の実施形態について議論された。会場のキャンセル料は開催の1ヶ月前からかかることが佐藤室蘭幹事から報告された。それも踏まえて開催の約1ヶ月前の12月1日時点で開催形態を対面にするかオンラインにするかを決定することが承認された。
 - ◇ 現地委員の負担を考慮し、ハイブリッド開催は行わないことが承認された。
 - ◇ ジュニアセッションのみハイブリッド開催の可能性があることが報告された。室蘭工大の学内LAN使用の可否について調査することになった。

- 議題2 リフレッシュ理科教室の予算及び北見会場の実施形態について（資料2-1, 2-2, 2-3）
- 次年度のリフレッシュ理科教室の予算編成に大きな変更があり、これまでの経緯も含めて山根庶務幹事から報告された。北見会場の実施形態について議論があり、承認された。
 - ◇ 昨年度までリフレッシュ理科教室の予算は自前の資金で運用できるように基金分を減額申請する事業計画を提出しており、予算は支部ごとに申請することが義務づけられていたが、方針が変更になったことが報告された。
 - ◇ 変更後の新方針として、リフレッシュ理科教室の予算は本部予算で行うことが本部戦略会議で決定されたことが報告された。
 - ◇ 昨年度ベースのリフレッシュ理科教室の開催を予定している場合には学術・教育奨励基金への申請は必要なく、補助金は一括申請が可能であることが報告された。
 - ◇ 北見会場での開催について予算申請しないならば実施計画から削除することについて議論された。
 - ◇ 木場北見幹事から北見工大での開催経緯を含めて補足説明があった。
 - ◇ 予算申請を一括で行うのであれば北見工大も会場を含めて予算も割り当てる方向で進めることが承認された。北見工大の実施担当者で調整の後、最終決定されることになった。
 - ◇ 各会場の予算配分に関しては庶務幹事に一任されることが承認された。

- 議題3 次年度予算および事業計画について（資料3, 4, 5）
- 山根庶務幹事より事業計画と予算策定における会長方針について説明があった。
- 小野会計幹事より、令和4年度の予算計画について説明があり承認された。
 - ◇ 北海道支部学術講演会の予稿集は電子化により予算に含めていないことが報告、承認された。
 - ◇ 支部学術講演会を対面で開催する場合、会場費分の支出をするため参加費を徴収することについて議論された。ここ数年はオンラインで開催されていたため、参加費の徴収は行っていなかったが、今後の継続性を考慮し対面で開催される場合には2000円の参加費を徴収することが承認された。
 - ◇ リフレッシュ理科教室は議題2の通り本部予算に組み込まれることになり、昨年度と同等の金額を申請することが承認された。
 - ◇ 学生旅費事業の実施状況について説明があった。
- 山根庶務幹事より2023年度事業計画について説明があり、承認された。
 - ◇ 学生旅費支援事業の継続が報告された。
 - ◇ リフレッシュ理科教室は北見工大での開催が認められれば引き続き4会場で継続することが説明され、承認された。
 - ◇ リフレッシュ理科教室の実施計画に関して新ホームページでのオンラインコンテンツ配信を開始した旨記載することが報告された。
 - ◇ 箕人材育成幹事からジュニアセッションコンテストについて補足説明があった。予算が今後削減されるため、支部の予算を使用する可能性など今後議論が必要であることが説明された。

報告事項:

- 将来基金の活用について（資料 6）
 - 山根庶務幹事から将来基金の活用に関して説明があった。
 - ◇ 支援事業の種類、「学術・教育奨励基金」との違いについて説明があった。
 - ◇ コロナ渦で支援事例が減少しているので、申請の呼びかけがあった。
 - ◇ 申請、支援スケジュールの説明があった。
- 消費税インボイス制度について（資料 7）
 - 山根庶務幹事から消費税インボイス制度に関して説明があった。
 - ◇ 2023 年度 10 月から開始され、これまでの請求書、領収書の運用方法では支部単位での対応が困難であることが予想されるので、本部で対応方法を検討していることが報告された。
- 新ウェブサイトの公開について
 - 山根庶務幹事から応用物理学会北海道支部の新ウェブサイトの紹介があった。